

<機能試験>

【インテークバルブ／インテークメンブレン】 インテークメンブレンは周囲の空気又は酸素を取り入れ、空気の逆流を防止します。

1. 片方の手で換気バッグを圧迫します。
2. 他方の手でネック開口部をふさぎます。
3. 換気バッグの圧迫を緩めます。



4. 換気バッグが再膨張した状態でネックの開口部は閉鎖したまま、再度圧迫を試みます。



▶ 換気バッグが再膨張しましたか？

- はい →効果的に空気の取入れが行われています。次へ進んで下さい。
- いいえ→インテークバルブが正しく装着されていない可能性があります。再度インテークバルブ組立手順に従って取付けて下さい。

▶ 換気バッグは圧迫できないですね？

- はい →インテークバルブが効果的に働き、空気の逆方向漏れを防止しています。次へ進んで下さい。
- いいえ→インテークバルブが正しく装着されていない可能性があります。再度インテークバルブ組立手順に従って取付けて下さい。

【患者バルブ／リップバルブ／ディスクメンブレン】 リップバルブは一方弁として、換気バッグから患者に吸気を供給し、呼気の戻りを防ぎます。また、ディスクメンブレンの動きで患者の呼気が排出されていることが確認できます。

1. 患者バルブを換気バッグに取付けます。
2. 換気バッグを圧迫し、酸素リザーババッグに患者バルブから空気を入れます。



3. 酸素リザーババッグをつぶし空気を押し出します。ディスクメンブレンの動きを見て下さい。



▶ 酸素リザーババッグに空気が入りましたか？

- はい →患者バルブが効果的に働いています。次へ進んで下さい。
- いいえ→リップバルブが正しく装着されていない可能性があります。再度患者バルブ組立手順に従って取付けて下さい。

▶ ディスクメンブレンが動き、空気が排出されましたか？

- はい →ディスクメンブレンが効果的に働き、排気しています。
- いいえ→ディスクメンブレンが正しく装着されていない可能性があります。再度患者バルブ組立手順に従って取付けて下さい。

【小児用/新生児用】

親指で患者バルブコネクタを閉じ、換気バッグを数回圧迫します。圧限定器が震え、ブルッと音がすることを確認して下さい。



【リザーババルブ／フラップバルブ】 フラップバルブは、酸素供給量が少なく設定されている場合には周囲空気を取り入れて不足分を補い、酸素リザーババッグ内が一定圧を超えた場合には余分な酸素を大気に排出します。

1. 酸素リザーババッグに患者バルブから空気を入れます。
2. 空気の入った酸素リザーババッグをリザーババルブに取付けます。
3. 酸素リザーババッグをつぶして空気を押し出します。フラップバルブの動きを見て下さい。



4. 再度酸素リザーババッグに患者バルブから空気を入れます。



5. それぞれのパーツを所定の位置に接続します。



6. 換気バッグを数回圧迫します。



▶ フラップバルブが動き、排気されましたか？

- はい →フラップバルブが効果的に働き、排気しています。
- いいえ→フラップバルブが正しく装着されていない可能性があります。再度リザーババルブ組立手順に従って取付けて下さい。

▶ 換気バッグの圧迫後、再膨張が可能ですか？

- はい →フラップバルブが効果的に働き、周囲の空気を取り込んでいます。
- いいえ→フラップバルブが正しく装着されていない可能性があります。再度リザーババルブ組立手順に従って取付けて下さい。

以上で機能試験は終了です。
それぞれ正しく動作するまで必ず行って下さい。